

第3回「オール埼玉医大 研究の日」開催報告

村上 孝

(医学部 微生物学)

2022年11月5日(土)、第3回「オール埼玉医大 研究の日」(以下、「研究の日」)が開催されました。新型コロナウイルス対策はもはや日常となり、「with コロナ」として開催企画を進めてきました。案の定、今年も開催日の直後に感染増の「第8波」がやってきました。この2年間は感染対策のため、昨年までは当初の企画にあったポスター発表会が開催できず、縮小されたままでした。しかし、学内の学術系ネットワークが強化されたことをきっかけに、今年度からは新たな試みとしてオンライン上でのZoom研究発表会を設けてみることにしました。こちらは教職員一般を対象にしたもので、午前の部(第一部)として開催しました。オンライン化による情報流出に気を配り、事前登録制として運用させて頂きました。開催日の前後1週間にオンライン上でポスター閲覧ができるようにし、学内での研究交流の機会が広がるように工夫してみました。このような開催形式によって感染対策に強い学内研究交流の構図がみえてきました。

従来までは午後から開催していたパートは第二部とし、こちらは口頭発表の機会を堅持する構図としました。今年からは、「第8回 学生による研究発表会」と「大学院博士

課程研究発表会」の間に新たに「大学院修士課程推薦発表」がプログラムに加わり、学部学生から修士・博士課程の大学院生まで、それぞれの研究発表がカバーされるようになりました。また、本学を代表とする研究を紹介する機会として、特別講演(学内グラント丸木記念特別賞受賞者成果発表)と本学創立50周年記念特別研究費受賞者の紹介トークを配置しました。第一部・第二部を合わせると学部学生から大学院生・教職員まで学内全体の研究成果が披露され、まさに一日中研究のことを考えながら情報を共有する場が整ってきました(「研究の日」の由来)。参加者からは、学部学生の研究内容が興味深いことや学内の研究の広がりを感じられたとの声も寄せられています。多様な研究に触れることで今までとは違う視点が得られたのではないのでしょうか。

この「研究の日」の発表内容は学部学生に対する研究マインド醸成の一環として、医学部2学生には録画視聴を義務付けています。この特集では当日のプログラムと特別講演の内容に加え、意気軒昂な医学部2学生からの感想文6件をご紹介します。